

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	実臨床における進行胆道癌患者に対する GCS 療法および GCD 療法の有効性と安全性の検討
	研究目的	切除不能胆道癌患者さんを対象として行われた国内臨床試験により、ゲムシタビン+シスプラチン併用療法（以下 GC 療法）と比べて、GC に S-1 も併用する GCS 療法が、延命効果に優れ、腫瘍が縮小する割合が高いことが明らかとなりました。この結果に基づき、当院では GCS 療法を切除不能胆道癌患者さんに対する標準治療の一つと位置付けて、使用しています。一方で、GC+デュルバルマブ療法（以下 GCD 療法）も GC 療法より延命効果が優れることが示されており、切除不能胆道癌患者さんに対する標準治療の一つです。GCS 療法と GCD 療法の使い分けおよび、優劣については明らかではなく、それぞれの治療法の使い分けも明らかではありません。そこで当施設で GCS 療法または GCD 療法を受けた患者さんにおける、有効性および安全性を検討することを目的として、カルテより情報を収集します。
	研究対象者	2020 年 6 月から 2023 年 7 月に当センター消化器内科にて GCS 療法または GCD 療法を受けた患者さん。
	研究期間	西暦 2023 年 8 月 15 日～西暦 2025 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理についての責任者	当センター 研究責任者	上野 誠
試料・情報を提供する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等 共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	消化器内科肝胆膵、消化器外科肝胆膵 なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター消化器内科 小林智 Kantansui-renkei@kcch.jp 利用停止のお申し出は 2025 年 6 月 30 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります